

日時 平成21年2月10日（火）13:30～16:30

場所 宮崎県立みやざき中央支援学校

記録：岩田（延岡たいよう支援学校）

## 1. 開会行事

- (1) 開会挨拶
- (2) 会長挨拶
- (3) 日程説明、出会者、資料確認  
(1のすべて省略)

## 2. 協議事項

### ① 平成20年度事業報告

(質疑等なし)

### ②平成20年度会計執行状況報告

質問：一般会計の残額が多い点について

今年度は、繰入金があったため例年よりも多く残っており、また、平成26年の全国大会に向けてと、来年度（21年度）研究大会の記念講演講師招聘のための予算に充てていく予定という  
ことで、前回までの理事会で承認されていることを説明した。

### ③平成21年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障害教育研究部会事業計画及び予算編成について

(質疑等なし)

### ④ 各担当校より

・研究大会担当校より

・講座について

(前回の理事会でも提案されたが) 実践報告が特別支援学校に偏っているので、特別支援学級にも発表の機会を増やしては?という意見があり、とりあえず、小学校から1校、中学校から1校に依頼をして増やしては・・・という意見を受けて、研究大会事務局で案を作り、説明があった。

(この件についての意見)

・前回の理事会で、2校に発表してもらおうということは了承済みだが……。21年度はできれば2校、無理ならば1校にして、22年度からは2校ということにしては?

・2校のうち1校は九特連で発表するところが(21年度は日向地区)前倒し的な感じで発表してもらい、もう1校をローテーションでというのはどうか。

・当初2校が発表するという事が決まって、そのうち1校を九特連で発表する学校にしては?ということから始まった話しだということであった。

・小中学校の理事が地区に持ち帰り、これから話すという機会が設定されていないので、ここでは決めかねる……

・お互いに協力して、決まったことはきちんと押さえて、確認しながらやらないと、研究大会事務局も大変である……など

→ここで、小中学校の理事より話し合う時間が欲しいということで、この件に関しては後回しでその後また議論するという事になった。

→**結論** 来年度の研究会実践報告について、日向・西臼杵地区から2校にお願いする予定である、ということが確認された。

・一次案内の内容確認と連絡がレジメに沿って行われた→**承認された**ので、後日、発送された。  
・作品について→今年度は、担当校が理事の半分ということで、取り決められていたが、来年度は11地区で担当することになるので、パネルや場所の広さなどを明示して、早めに作品募集ができるよう配慮する。

・その他・・・研究会までの日程確認とあわせて、第一回研究会に小中学校理事の先生方が参加できないということを考慮して、研究会当日の担当は、講座の記録係（HPへ講座の内容などを掲載する原稿作成など）にするなど、研究会事務局の案について説明。→**承認された。**

・来年度研究会実行委員会組織運営について説明→**承認された。**

・来年度研究会各係担当案について、20年度からの変更点の説明

(変更前)

(変更後)

○会場・設営全般の中の「垂れ幕」係＝みやざき中央 → 都城きりしま

○視聴覚機器等の準備 ＝みなみのかぜ → 延岡たいよう

○講座会場 ＝みなみのかぜ → みやざき中央

○お弁当 ＝都城きりしまがとりまとめ→(当日の配布) みやざき中央

○開会行事 ＝実行委員 →実行委員会事務局が担当すべきであるが、当日の対応もあるので、前回と同じ今村T(延岡たいよう)にお願いする。

・福祉月間担当校より

3月に他の機関との話し合いが行われるので、来年度理事会での報告になるとのこと。

・広報担当校より

(ホームページについて) 今回の議事録・研究会第一次案内などを掲載予定。

随時更新中なので、掲載などは担当者まで。

・事務局より

(来年度の知的部会小中学校の理事選出について) 3月に発送する理事選出の文書発送の説明が行われた。→確認された。

(事務局長より) 毎年の事だが、様々な事情があり、理事選出されるのが5月くらい。何とかスムーズに連絡・連携がとれるようにと一年間模索してきたが・・・。

どこを窓口にしたらうまく連携をとることができるか、ご意見をうかがいたい？

(意見)・この会が始まった経緯として、特別支援学校と特別支援教育に携わる小中学校の担当者がお互いに手を携えていこうというところからきていると聞いている。それが、研究会の準備・係を担当するために・・・という担当や係をするためだけの集まりになっているという気も若干していて、他の地区理事の方も少なからずそう言われて、または思われて来ているのではないかと。

・3年前の研究会開始時までは、小中学校理事はこの会に参加するだけでよかった。そのうちに研究会を一緒にということやできるようになり、あれよあれよという間にかかり関わる仕事が増えていっている。これ以上、広げていくことは困難だと思うし、小中特研の事務

局担当者などがこの会に参加しても、この状態（小中学校理事同士または特別支援学級担当者やその学校・小中特研などとスムーズに連絡・連携がとれない）はあまり変わらないのでは。

（この件に関して、赤江小：時任校長から）

・小中学校の足並みがそろるのが5月以降。6月中旬頃名簿等が作成され、連絡するということになる。宮崎県には組織的な問題があって、校長会でも話しはしている状態ではあるが・・・。

（他意見）小中特研の事務局へ連絡してみては？ など・・・

→結論は出ず、来年度に事務局担当で話し合いながら、**継続課題**とする。

（その他 補足：研究大会事務局より）研究大会の実践報告で、都城きりしま支援学校小林校については、平成20年度までは、隔年で発表するという事になっている。当時のままでいけば、ということだったので、確認をお願いしたい。→**確認された**

⑤ その他（省略）

3. 連絡等

（省略）

4. 閉会挨拶（省略）